

株式会社ラック

2022年3月期 通期決算説明資料

2022年5月13日

2022年3月期 通期決算概要



事業環境変化が事業の進捗に影響

- ・ 診断サービスはセキュリティ市場への新規参入企業の増大により競争激化
- ・ 監視サービスは大手製造向けは順調に推移したものの、半導体不足による製品の納期遅延が影響
- ・ 開発サービスは一部大手金融向けシステム開発案件の遅延、大型案件終息が影響

セキュリティ事業に注力するグループ再編や保有株式の見直しを推進

- ・ ラックサイバーリンクをセキュリティ子会社として非中核事業（人材派遣ビジネス）を戦略的に縮小
- ・ アイ・ネット・リリー・コーポレーションを事業譲渡・株式売却
- ・ ジャパン・カレントの株式を一部売却（保有比率97→30% 非連結・非持分法化）、および保有有価証券を一部売却

サイバーセキュリティ事業拡大に向けた連携強化

- ・ (株)野村総合研究所と資本業務提携を締結し合併会社を設立（KDDI(株)とあわせ第三者割当増資を実施）
- ・ KDDIデジタルセキュリティ(株)（持分法適用会社）が好調に推移

事業環境変化やグループ再編等の影響で売上高・営業利益は低調だったものの
特別利益の計上によりROEは10%台に回復
(株)野村総合研究所との資本業務提携など将来の事業拡大に向けた施策を推進

**売上高は子会社事業譲渡の影響※¹もあり減収
事業拡大に向けた販売体制等の強化により営業利益は減益
前期の特別損失に対し、今期は特別利益※²を計上したこともあり当期純利益は大幅増益**

（百万円）

科目	'21年3月期 通期実績	'22年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	43,693	42,660	△1,033	△2.4
営業利益	2,117	1,595	△522	△24.7
営業利益率%	4.8	3.7	△1.1p	-
経常利益	2,242	1,769	△472	△21.1
経常利益率%	5.1	4.1	△1.0p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	304	1,401	+1,096	+359.8
自己資本当期純利益率（ROE）%	2.6	10.2	+7.6p	-

※1.アイ・ネット・リリー・コーポレーション(株) 売却影響 売上高：△約1,070百万円、営業利益：△約100百万円

2.子会社株式売却益219百万円、投資有価証券売却益224百万円を特別利益として計上（前期は長期滞留仕掛品評価損1,248百万円を特別損失として計上）

セキュリティ事業は増収・減益、SI事業は減収・減益
IT投資等により全社共通費用は増加

（百万円）

売上高	'21年3月期 通期実績	'22年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	18,659	19,380	+720	+3.9
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	25,033	23,279	△1,754	△7.0
合計	43,693	42,660	△1,033	△2.4
セグメント利益	'21年3月期 通期実績	'22年3月期 通期実績	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,541	2,319	△222	△8.8
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	3,172	2,985	△187	△5.9
合計	5,714	5,304	△409	△7.2
全社共通費用	△3,597	△3,709	△112	-

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

製品販売、コンサルティングが拡大し増収ながらも、販売体制強化により減益

コンサルティングサービス

企業に対するサイバー攻撃が依然として猛威を振うなか、緊急対応サービスが大きく伸長

診断サービス

標的型攻撃メールに対する予防訓練サービスやプラットフォーム診断サービスは増加したものの、緊急事態宣言下でのお客様のシステム開発延期、競争激化の影響を受けてWeb診断サービスが落ち込み減少

運用監視サービス

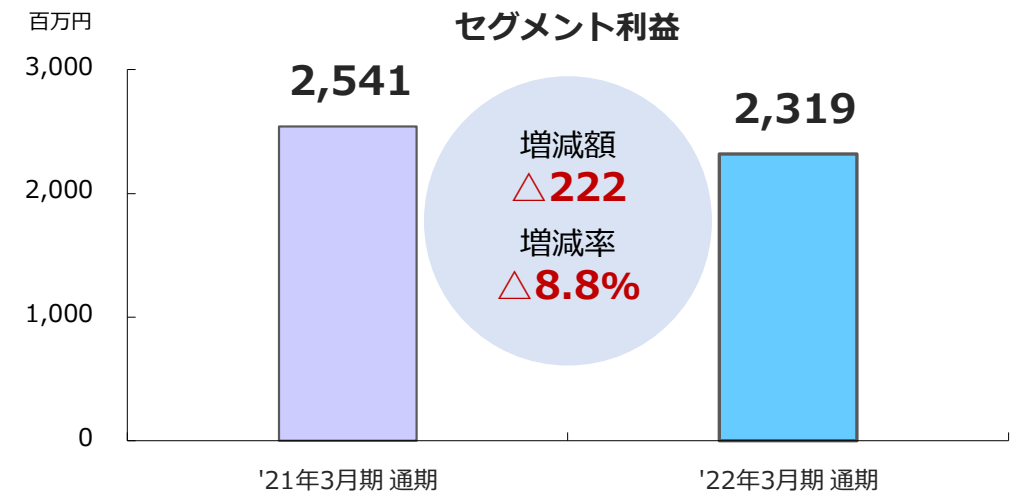
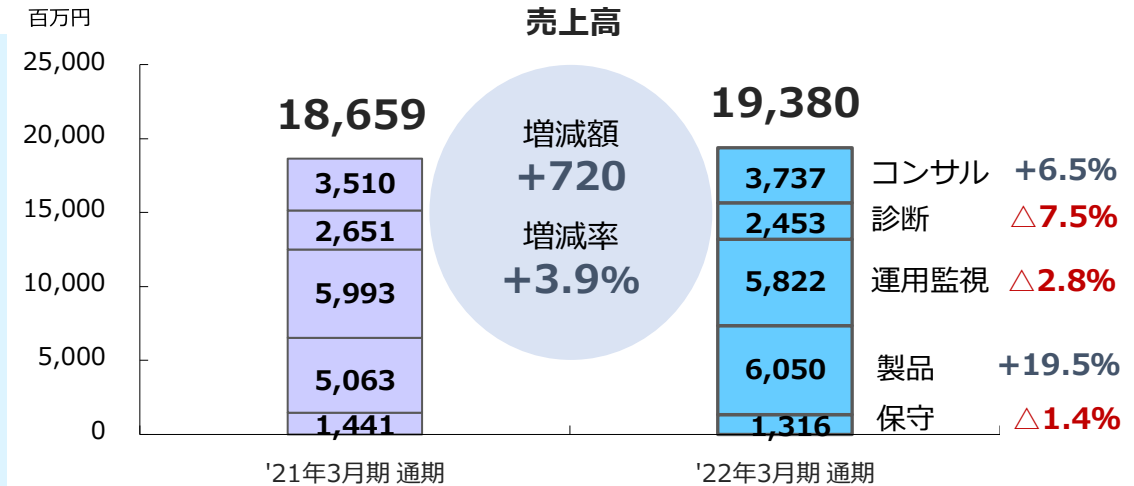
運用監視サービスは既存および新規導入案件の進捗が堅調に推移
子会社ラックサイバーリンクにおける人材派遣ビジネスの戦略的縮小で減少

製品販売

エンドポイント対策およびサービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策をはじめとするクラウド対応製品などが拡大

保守サービス

クラウド対応製品の拡大に伴い既存案件が減少



子会社の事業譲渡や大型案件減などの影響により減収・減益

開発サービス

一部金融業向けの新規開発案件が滞ったことや公共関連の大型案件の終息などの影響があったものの、サービス業や製造業向けに案件が拡大

HW／SW（ハードウェア・ソフトウェア）販売

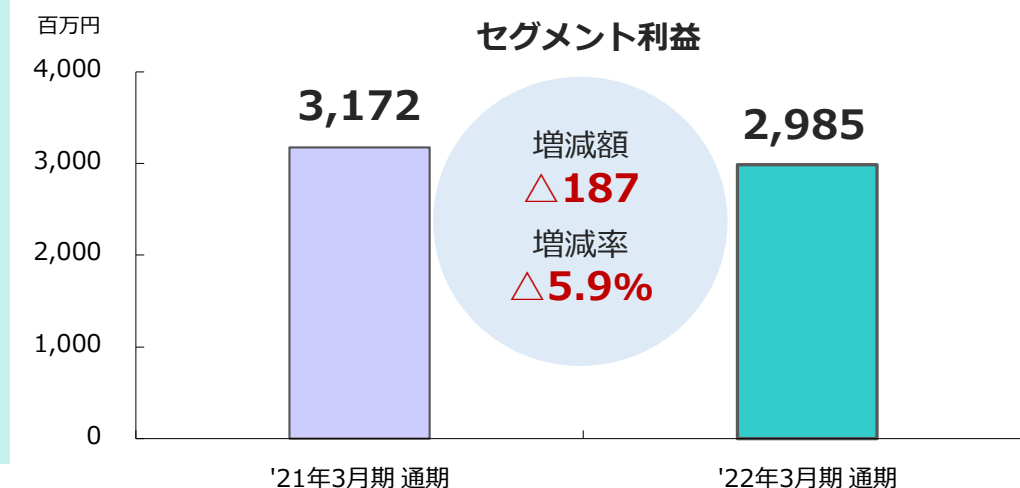
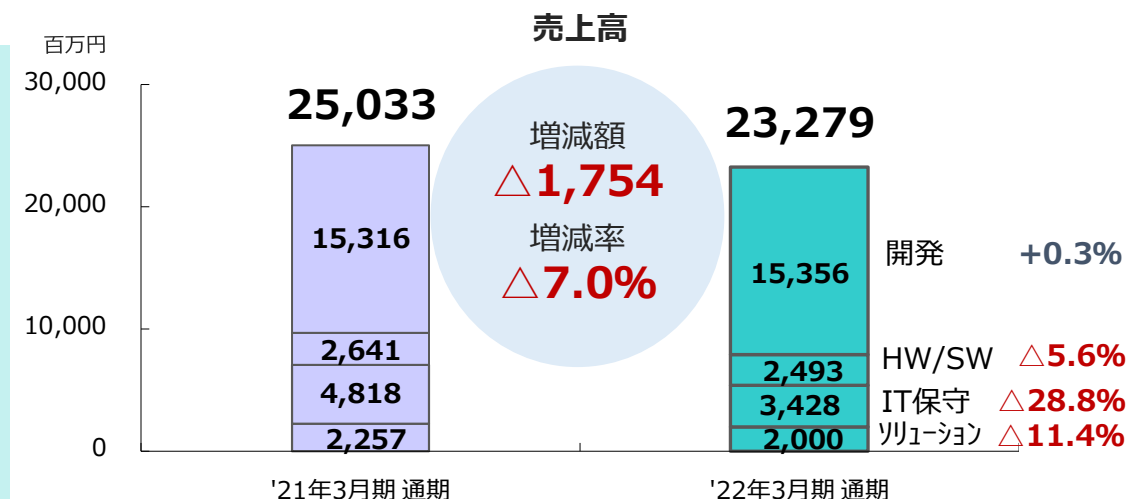
クラウドサービスの拡大等で需要が縮小したことで更新案件が減少

IT保守サービス

HW／SW関連の保守契約において、前期は大型案件があったものの、当期は同様の案件がなかったこと、また子会社アイ・ネット・リリー・コーポレーションの事業譲渡影響等により減少

ソリューションサービス

マルチクラウド開発管理などクラウド関連のソリューション販売等が好調に推移したものの、子会社アクシスにおいて前期に計上した教育分野向けの大型案件が当期はなかったことにより減少



第三者割当増資により純資産と現預金が大幅に増加、投資のための財務基盤を強化

（百万円）

科目	‘21年3月期末	‘22年3月期末	前期末比 増減
資産合計	24,626	25,306	+679
流動資産	16,349	17,873	+1,524
固定資産	8,277	7,433	△844
負債合計	12,965	9,537	△3,428
流動負債	10,032	7,957	△2,074
固定負債	2,933	1,579	△1,353
純資産合計	11,661	15,769	+4,108
現預金	6,367	9,785	+3,418
有利子負債	4,843	2,746	△2,096
自己資本比率	47.3%	62.3%	+15.0p

増減ポイント

資産

【流動資産】

現金及び預金の増加	+3,418
売掛金の減少	△1,144
商品の減少	△449

負債

【流動負債】

1年内返済予定の長期借入金の減少	△736
その他に含まれる未払金の減少	△574

【固定負債】

長期借入金の減少	△1,332
----------	--------

純資産

【純資産】

資本金及び資本剰余金の増加	+3,296
利益剰余金の増加	+778

利益拡大と運転資本改善により営業キャッシュ・フローが増加、 投資有価証券売却もありフリーキャッシュ・フローが大きく増加

(百万円)

科目	'21年3月期 通期実績	'22年3月期 通期実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,969	2,956
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,358	△105
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,091	562
フリーキャッシュ・フロー	610	2,850
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,713	3,418
現金及び現金同等物期首残高	4,653	6,367
現金及び現金同等物期末残高	6,367	9,785

発生ポイント

営業キャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益	2,020
減価償却費	950
のれん償却額	72
売上債権の減少額	979
棚卸資産の減少額	452
法人税等の支払額	△756

投資キャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△596
ソフトウェアの取得による支出	△341
投資有価証券の売却による収入	671
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	253

財務キャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出	△2,068
株式の発行による収入	3,296
配当金の支払額	△622

売上高、営業利益、経常利益は予想を下回る 親会社株主に帰属する当期純利益は予想を若干上回って着地

（百万円）

科目	'22年3月期 通期予想(21/5/12)	'22年3月期 通期実績	予想比増減	
			増減額	増減率(%)
売上高	47,200	42,660	△4,539	△9.6
営業利益	2,100	1,595	△504	△24.0
営業利益率%	4.4	3.7	△0.7p	-
経常利益	2,075	1,769	△305	△14.7
経常利益率%	4.4	4.1	△0.2p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,390	1,401	+11	+0.8
自己資本当期純利益率（ROE）%	11.2	10.2	△1.0p	-

（注）1.アイ・ネット・リリー・コーポレーション(株)売却影響 売上高：△約970百万円、営業利益：△約30百万円

セグメント別においても売上・利益とも予想を下回る 全社共通費用は経費抑制等により予想を下回る

（百万円）

売上高	'22年3月期 通期予想(21/5/12)	'22年3月期 通期実績	予想比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	20,500	19,380	△1,119	△5.5
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	26,700	23,279	△3,420	△12.8
合計	47,200	42,660	△4,539	△9.6

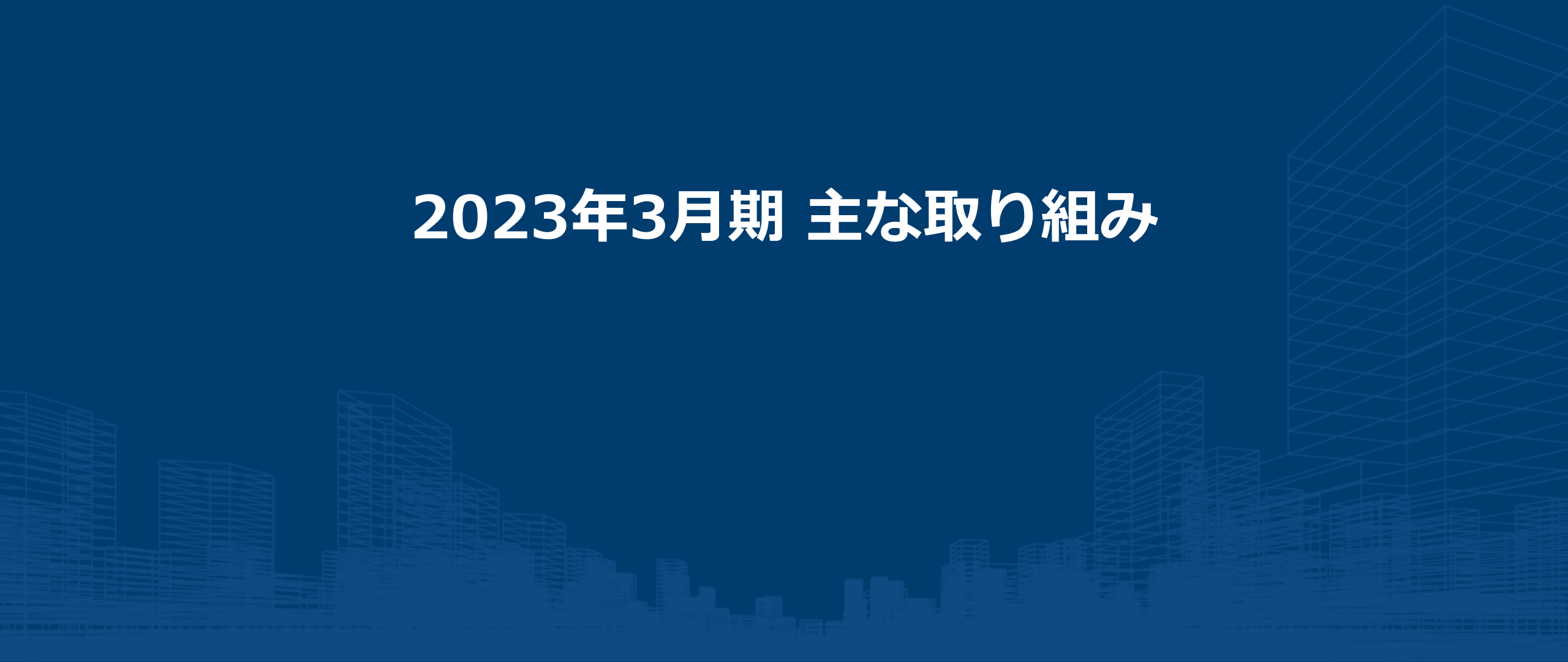
（百万円）

セグメント利益	'22年3月期 通期予想(21/5/12)	'22年3月期 通期実績	予想比増減	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	3,400	2,319	△1,080	△31.8
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	3,100	2,985	△114	△3.7
合計	6,500	5,304	△1,195	△18.4

全社共通費用	△4,400	△3,709	+690	-
--------	--------	--------	------	---

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

2023年3月期 主な取り組み



中期経営計画テーマ



セキュリティとシステムインテグレーションの事業共創によって
きたるべき未来へ挑戦を続ける



共創による事業領域拡大を推進

業務提携等とあわせサイバーセキュリティ対策の事業を拡大 サイバー脅威や被害が拡大している「クラウド」「ランサム」「内部不正」に注力

外部脅威

クラウド

クラウド導入拡大によってサイバー脅威が拡大

ニューリジェンセキュリティ(株)

(株)野村総合研究所との合併会社
(2022年3月14日設立、4月1日事業開始)



AIを活用したマネージドセキュリティ
サービスを提供

+

ランサム攻撃※1

巧妙化・悪質化が進み被害拡大

監視サービス、緊急対応サービスを
はじめとしたラックの強みとする領域



AI・システムを活用した
ソリューション展開

+

内部脅威

内部不正

テレワークにより組織内を把握しにくく被害拡大

(株)エルテス

資本業務提携
ラックからの出資比率10%※2
(2022年4月21日締結)

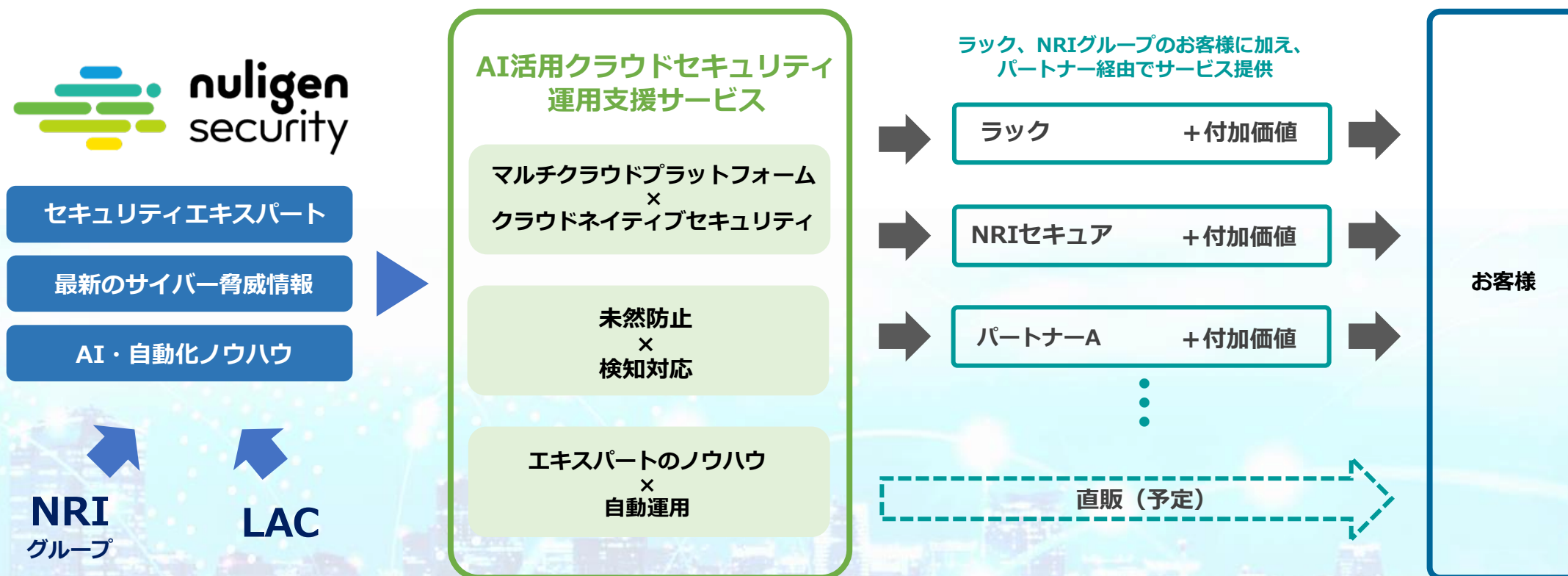


内部不正監視ソリューション、
SNSソーシャルリスク対策の提供

※1. 身代金要求型の攻撃

※2. 2022年5月17日払込予定

ラックとNRIグループのノウハウを活用してクラウドセキュリティの運用を支援



内部不正への専門的知見と独自のサービスを展開している エルテス社とラックの得意領域と組み合わせサービスを提供

エルテス

ラック

内部不正監視



セキュリティ監視センター



エルテスの内部不正監視と当社のセキュリティ監視サービスを組み合わせたサービスを提供

ソーシャルリスク
マネジメント



サイバー救急センター



エルテスのソーシャルリスクマネジメントサービスを活用したリスク対策サービスを提供

データ分析技術を活用した
新ビジネスの開発

エルテスのAIを活用したデータ分析技術と当社が保有する脅威情報をもとに新たなビジネスを創出

サイバー攻撃対策のエキスパートとしての強みを活かして ランサム攻撃対策サービスを提供

注意喚起



予防・抑制

セキュリティ教育

教育・訓練・演習

デジタル×ノウハウ

24時間365日インシデント対応

緊急対応サービス

一次対応・アフター対応



攻撃の検知

運用監視サービス

24時間365日リアルタイム監視

テクニカルレポート



予防・抑制

セキュリティ診断

脆弱性診断、メール訓練

デジタル×ノウハウ

2023年3月期 連結業績予想



ランサム攻撃や内部不正などへのサイバーセキュリティ対策需要や システム開発への投資拡大を背景に、大幅な増収増益を予想

（百万円）

科目	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	42,660	50,000	+7,339	+17.2
営業利益	1,595	2,100	+504	+31.6
営業利益率%	3.7	4.2	+0.5p	-
経常利益	1,769	2,100	+330	+18.7
経常利益率%	4.1	4.2	+0.1p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	1,401	1,410	+8	+0.6
自己資本当期純利益率(ROE)%	10.2	8.8	△1.4p	-

セキュリティ事業、SI事業とも大幅な増収増益を予想
社内IT投資、組織体制の強化などにより全社共通費用は増加を予想

（百万円）

売上高	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	19,380	24,000	+4,619	+23.8
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	23,279	26,000	+2,720	+11.7
合計	42,660	50,000	+7,339	+17.2

セグメント利益	'22年3月期 通期実績	'23年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,319	3,800	+1,480	+63.9
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	2,985	3,300	+314	+10.5
合計	5,304	7,100	+1,795	+33.8

全社共通費用	△3,709	△5,000	△1,290	-
--------	--------	--------	--------	---

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

(ご参考) サブセグメント別業績予想 (前期比)

(百万円)

売上高	'22年3月期	'23年3月期	前期比	
	通期実績	通期予想	増減額	増減率%
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	19,380	24,000	+4,619	+23.8
セキュリティコンサルティングサービス	3,737	4,400	+662	+17.7
セキュリティ診断サービス	2,453	3,150	+696	+28.4
セキュリティ運用監視サービス	5,822	7,300	+1,477	+25.4
セキュリティ製品販売	6,050	7,700	+1,649	+27.3
セキュリティ保守サービス	1,316	1,450	+133	+10.1
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	23,279	26,000	+2,720	+11.7
開発サービス	15,356	17,300	+1,943	+12.7
HW／SW販売	2,493	2,900	+406	+16.3
IT保守サービス	3,428	3,000	△428	△12.5
ソリューションサービス	2,000	2,800	+799	+39.9
合計	42,660	50,000	+7,339	+17.2

株主還元



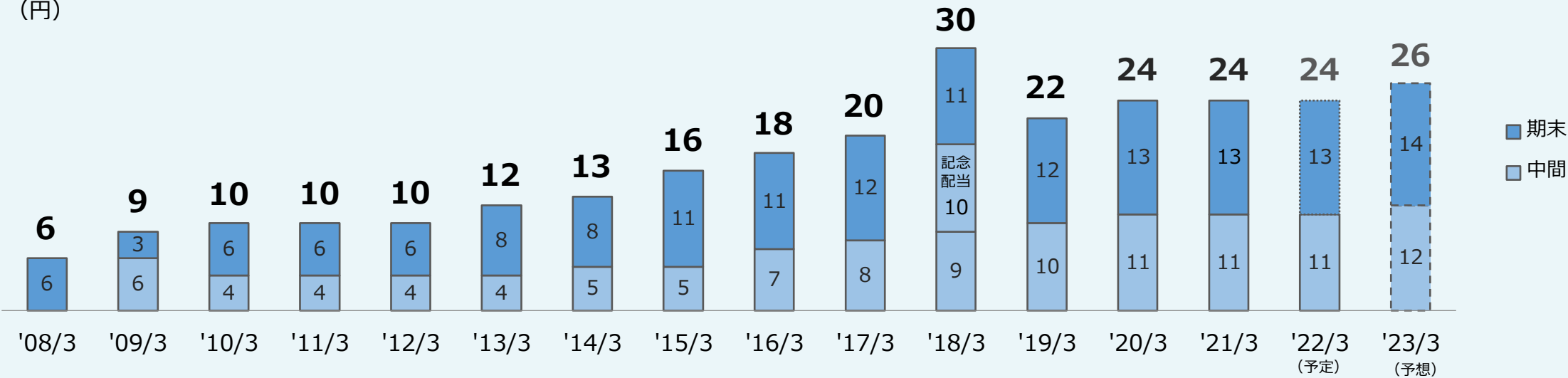
年間配当は24円の予定、今期は26円の予想

配当方針

- 長期的かつ安定的に保有いただくことを目的に、継続的に安定した配当水準を維持
- 基本指標はDOE（株主資本配当率）5%

1株当たり配当金

(円)

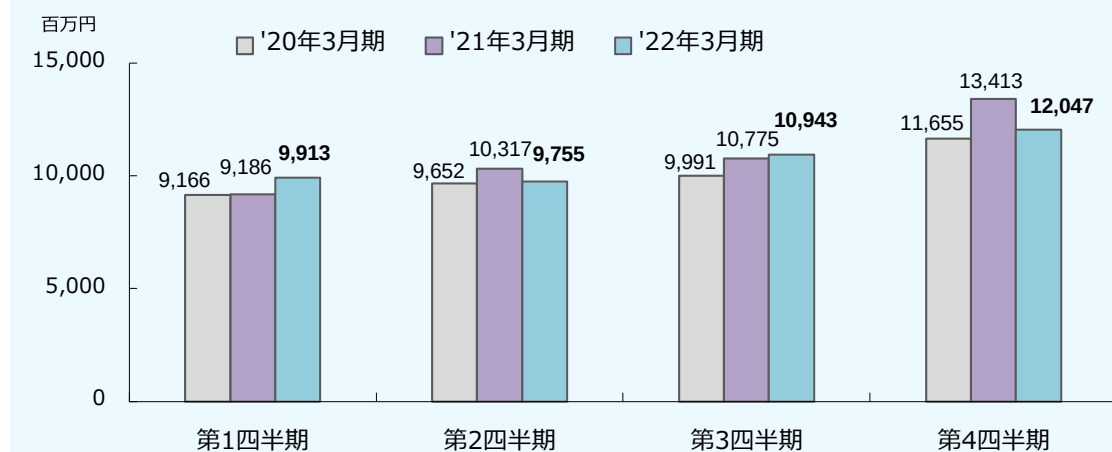


DOE	2.8%	4.2%	5.1%	5.2%	4.8%	5.2%	5.0%	5.5%	5.5%	5.5%	5.1%	5.2%	5.3%	5.2%	4.9%	4.9%
											(記念配当を除く)					
配当性向	18.2%	98.7%	-	38.9%	45.0%	34.3%	32.7%	32.3%	31.6%	34.0%	40.5%	36.3%	56.2%	201.3%	44.8%	55.6%
											(記念配当を除く)					

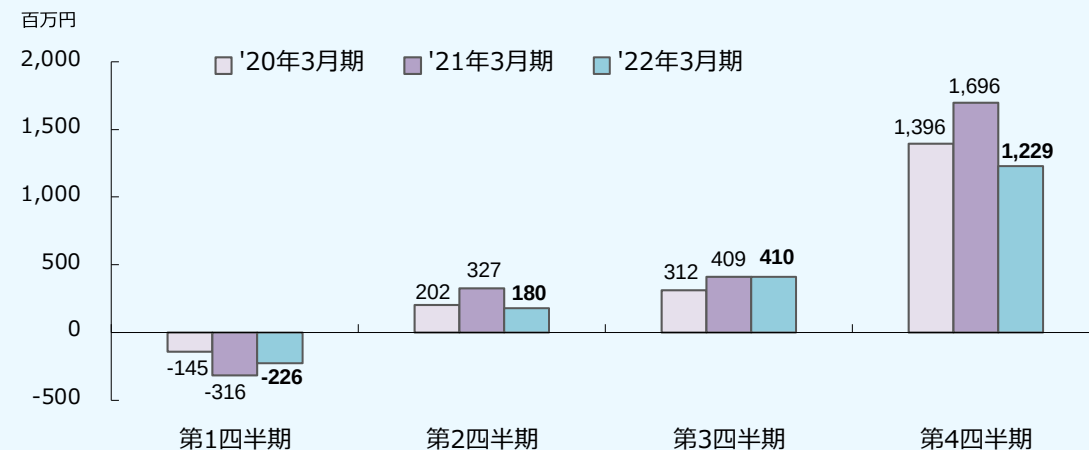
補足資料



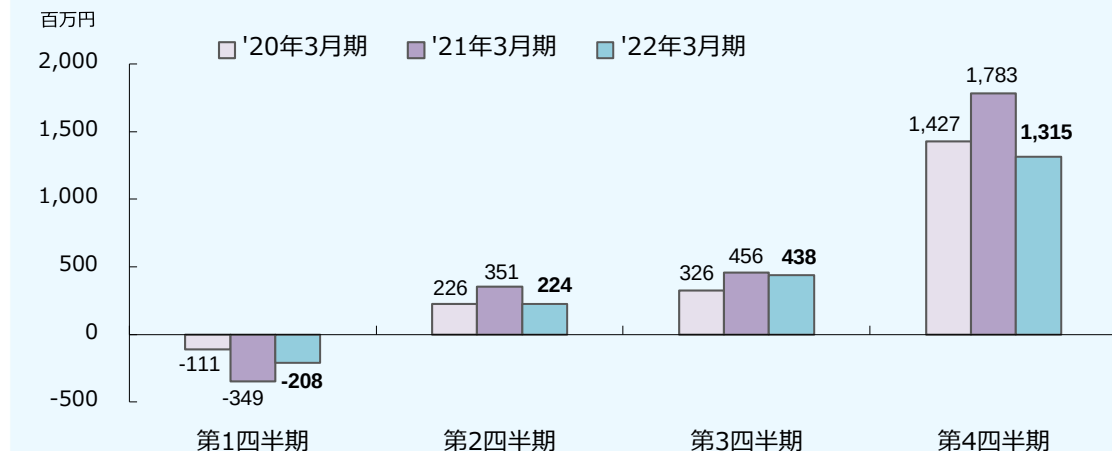
売上高



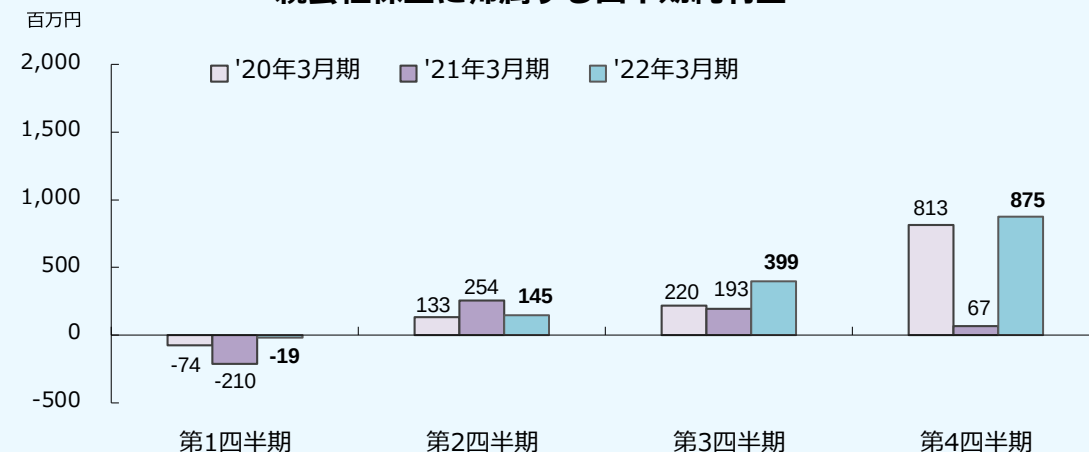
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



連結決算・セグメント別業績（1-3月 前年同期比）



（百万円）

科目	'21年3月期 4Q実績	'22年3月期 4Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	13,413	12,047	△1,365	△10.2
営業利益	1,696	1,229	△466	△27.5
営業利益率%	12.7	10.2	△2.4p	-
経常利益	1,783	1,315	△467	△26.2
経常利益率%	13.3	10.9	△2.4p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	67	875	+807	+1,193.4
売上高				
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	6,267	5,849	△418	△6.7
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	7,145	6,198	△947	△13.3
合計	13,413	12,047	△1,365	△10.2
セグメント利益				
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	1,538	1,185	△353	△23.0
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	1,039	1,005	△34	△3.3
合計	2,578	2,190	△388	△15.0
全社共通費用	△881	△960	△78	-

連結業績・セグメント別推移（四半期）



(百万円)

連結業績	'20年3月期				'21年3月期				'22年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	9,166	9,652	9,991	11,655	9,186	10,317	10,775	13,413	9,913	9,755	10,943	12,047
売上原価	7,433	7,714	7,897	8,476	7,571	8,117	8,565	9,860	8,094	7,670	8,581	8,858
売上原価率 (%)	81.1	79.9	79.0	72.7	82.4	78.7	79.5	73.5	81.7	78.6	78.4	73.5
販売費及び一般管理費	1,878	1,735	1,781	1,781	1,931	1,873	1,800	1,855	2,045	1,904	1,951	1,959
売上高販管費比率 (%)	20.5	18.0	17.8	15.3	21.0	18.2	16.7	13.8	20.6	19.5	17.8	16.3
営業利益	△145	202	312	1,396	△316	327	409	1,696	△226	180	410	1,229
売上高営業利益率 (%)	△1.6	2.1	3.1	12.0	△3.4	3.2	3.8	12.7	△2.3	1.9	3.8	10.2
親会社株主に帰属する四半期純利益	△74	133	220	813	△210	254	193	67	△19	145	399	875
売上高四半期純利益率 (%)	△0.8	1.4	2.2	7.0	△2.3	2.5	1.8	0.5	△0.2	1.5	3.6	7.3

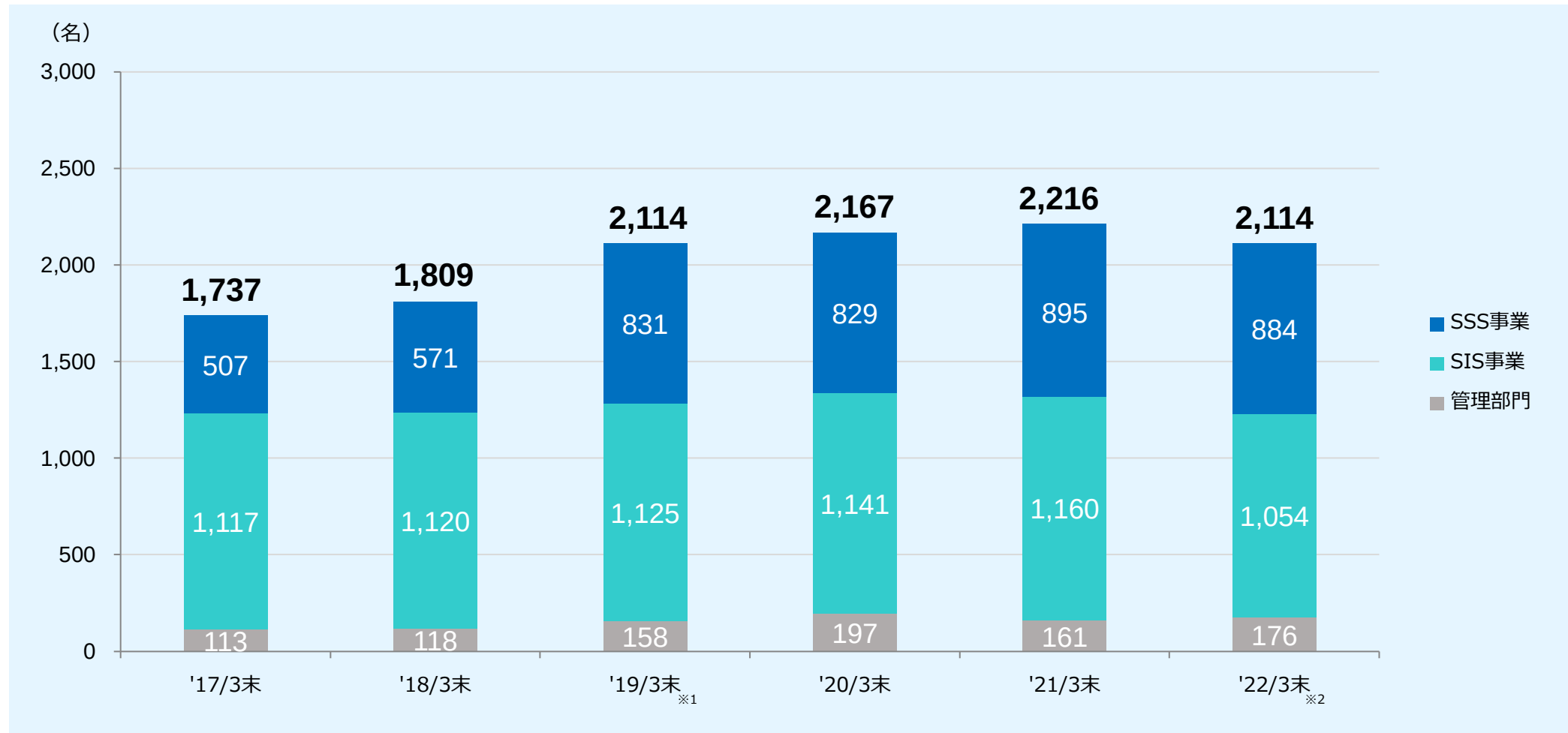
セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

売上高	コンサルティングサービス	517	715	688	1,224	592	777	825	1,315	740	905	881	1,209
	診断サービス	423	440	525	941	310	591	512	1,236	411	504	464	1,072
	運用・監視サービス	1,309	1,318	1,526	1,604	1,352	1,407	1,409	1,823	1,405	1,385	1,507	1,524
	製品販売	978	869	1,113	884	1,120	960	1,601	1,380	1,555	1,261	1,570	1,661
	保守サービス	425	305	306	326	328	225	374	511	311	194	430	381
	合 計	3,653	3,650	4,160	4,981	3,704	3,963	4,724	6,267	4,425	4,251	4,854	5,849
セグメント利益		293	361	423	1,359	55	436	510	1,538	208	383	542	1,185

システムインテグレーションサービス事業（SIS事業）

売上高	開発サービス	3,318	3,947	3,565	4,455	3,318	3,855	3,791	4,351	3,343	3,821	4,007	4,184
	HW／SW販売	610	486	749	715	451	950	526	713	440	551	799	701
	I T 保守サービス	1,252	1,173	1,188	1,054	1,335	1,149	1,357	975	1,171	711	903	641
	ソリューションサービス	331	394	327	448	376	399	376	1,105	532	419	378	671
	合 計	5,513	6,002	5,831	6,673	5,482	6,354	6,051	7,145	5,488	5,503	6,089	6,198
セグメント利益		526	695	764	919	587	808	736	1,039	507	694	778	1,005

全社共通費用	△965	△854	△875	△881	△959	△918	△837	△881	△942	△896	△909	△960
--------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

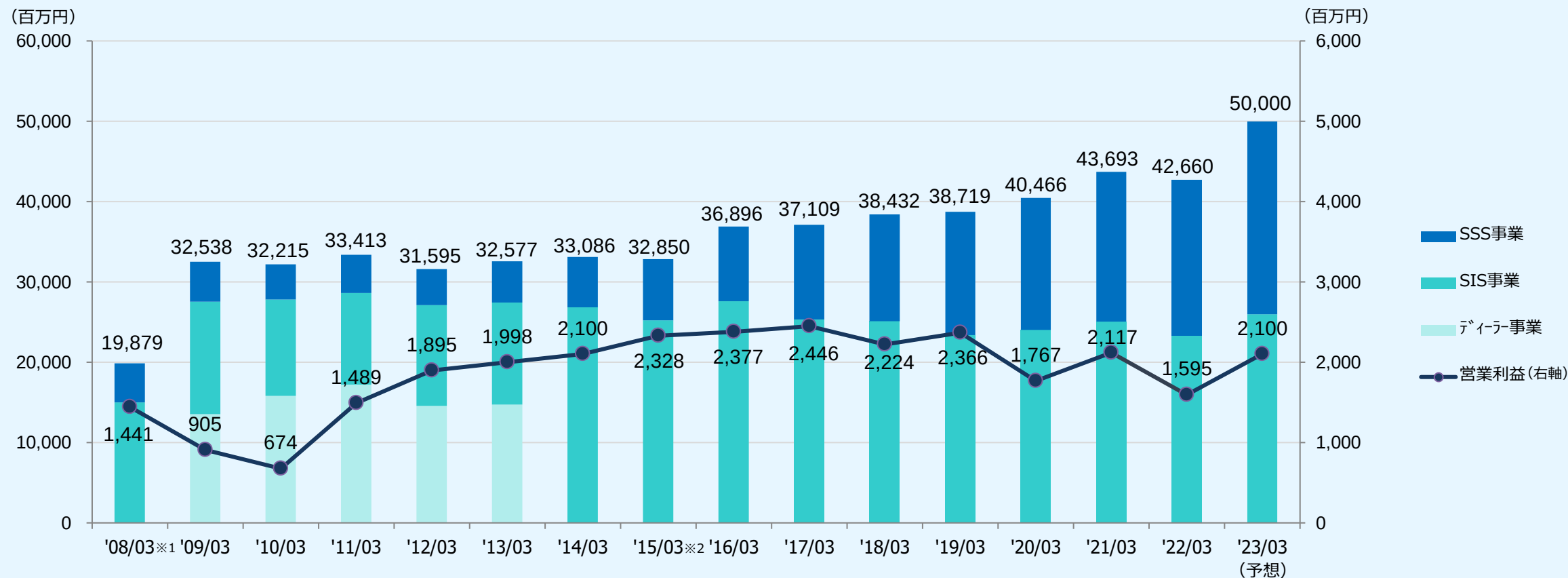


※1 2019年3月期以降のSSS事業における連結従業員数は、2018年4月2日に子会社化した(株)アジアリンク（現 (株)ラックサイバーリンク）の従業員が含まれています。

※2 SSS事業において、第1四半期に(株)アジアリンクが(株)ラックサイバーリンクを存続会社として吸収合併したことによる減少影響（21年3月末比較：30名）があります。

SIS事業において、2021年6月28日にアイ・ネット・リリー・コーポレーション(株)の全株式を売却し、連結の範囲から除外していることから、同社の従業員数（21年6月末時点：97名）が除外されています。

連結業績推移（セグメント別）



※1 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。

※2 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。

事業トピックス



(株)野村総合研究所（NRI）と資本業務提携、同社と(株)KDDIに新株発行による第三者割当を実施 NRIと合併会社を設立するなど、セキュリティ事業拡大に向けた取り組みを推進

NRIとの資本業務提携

(2022年1月21日)

- ・ NRI子会社のNRIセキュアテクノロジーズ(株)とタッグを組み、クラウドプラットフォームに対するマネージドセキュリティサービス（MSS）を提供する合併会社の設立、運営
- ・ 新たな市場、技術分野に対するセキュリティサービス、ソリューションの共同開発、提供

合併会社名：ニューリジェンセキュリティ(株)
所在地：東京都渋谷区神宮前6丁目12番18号
設立年月日：2022年3月14日
事業開始日：2022年4月1日
資本金：2億円
出資比率：NRI 50% ラック 50%

1. 両社の事業基盤(システム、Threat Intelligence、運用ノウハウ)の共有
2. AIを活用した高度自動化による高品質、低価格なサービスの早期開発、提供

NRI、KDDIへの新株発行による第三者割当

(2022年2月14日)

第三者割当後のNRI、KDDIの持株比率（2022年3月31日現在）

	持株比率※1
KDDI(株)	31.92%
(株)野村総合研究所	10.21%

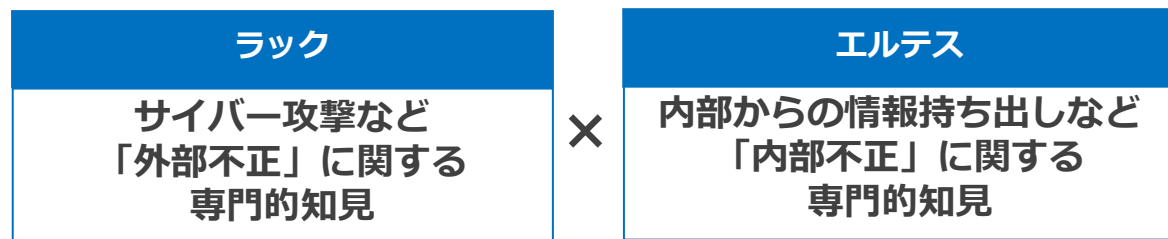
※1：持株比率は発行済株式（自己株式647,629株を除く。）の総数に対する所有株式数の割合を記載しています。

資金使途予定

NRIとの合併会社設立（実施）	300百万円 (2022年3月)
成長市場を軸としたM&A、資本提携	2,678百万円 (22年4月～23年3月)
独自ソリューション開発への投資	300百万円 (22年4月～24年3月)

合計金額 3,278百万円

(株)エルテスと資本業務提携、両者が得意領域を補完することで、
多くのサイバーセキュリティ事故をカバーする強固なセキュリティ体制を提供



資本提携内容

項目	内容
出資先企業	(株)エルテス
引受株数	620,000株（普通株式）
引受金額	605百万円
出資割合（議決権所有割合）	10.25%
契約締結日	2022年4月21日
払込期日	2022年5月17日

■ 運用監視サービスの事業拡大

当社のセキュリティ監視サービスとエルテスの内部不正監視を組み合わせたサービスを提供

■ インシデント対応サービスの事業拡大

当社のインシデント対応サービスにおけるソーシャルリスク対策として、エルテスのソーシャルリスクマネジメントサービスを活用したインシデント対応サービスの事業拡大

■ データ分析技術を活用した新ビジネスの開発

当社が保有する脅威情報とエルテスのAIを活用したデータ分析技術をもとにした新たなビジネスの創出



企業におけるセキュリティインシデント（事故につながる事態）の約7割※を占める外部不正と、同インシデントの約1割※を占める内部不正に対して対応でき、強固なセキュリティ体制を提供

※当社のサイバー救急センターに相談いただいたセキュリティインシデントの統計による

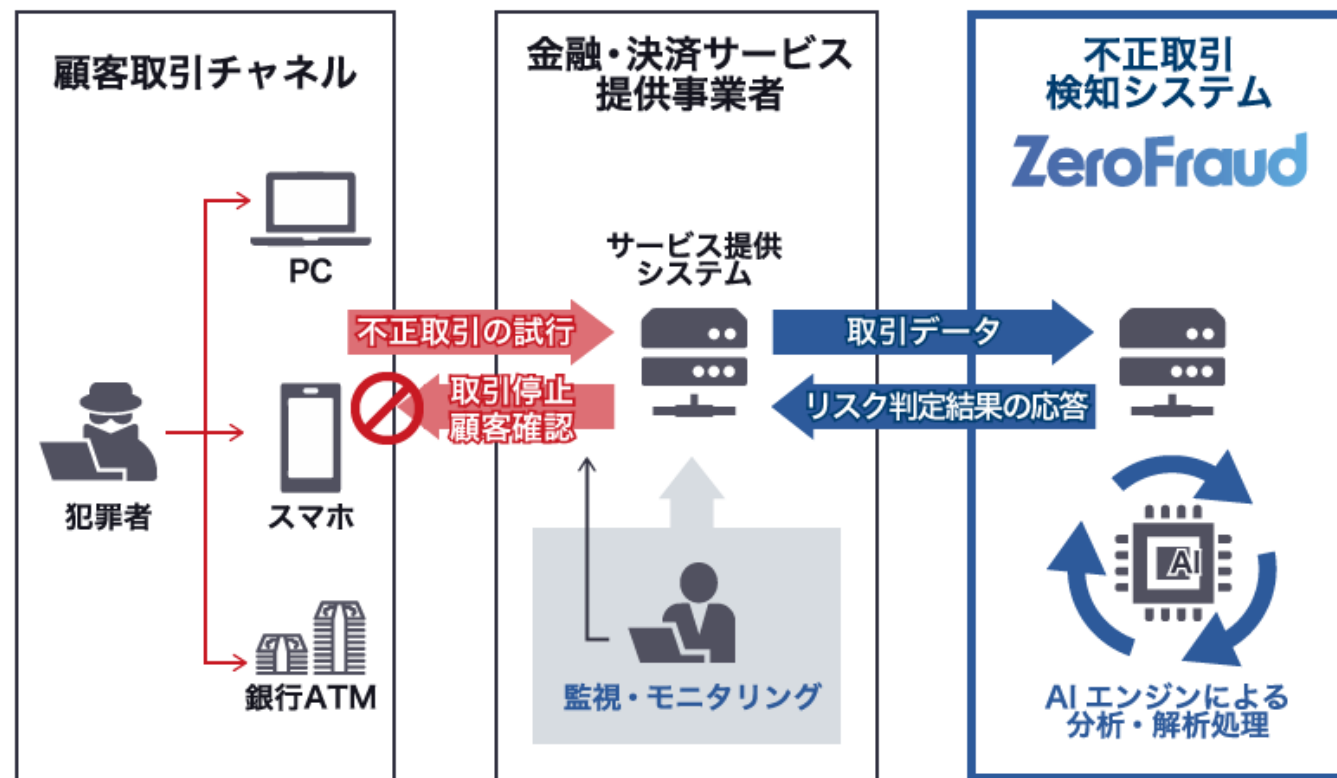
人工知能（AI）を活用し、銀行ATMの不正取引を検知、防御する ラックの新サービス「AIゼロフラウド」を提供

特殊詐欺における銀行ATM不正利用に対して、ラックが開発したAI不正検知機能を活用。

ATMサービス利用者の取引行動から特殊詐欺行為を発見し、不正利用を停止する新ソリューションサービス。

ラックと株式会社三菱UFJ銀行と行った実証実験では、ATM不正出金の検知率94%を実現。

金融犯罪向け不正取引検知サービスのながれ



ラックの豊富な経験とノウハウを組み入れた自動化診断サービスのラインアップを拡充

Webサイトなどによるサービスを次々と展開する企業に対し、セキュリティ診断の期間やコストへの課題に対応。

自動化ツールを活用するとともに、自社の豊富な経験とノウハウを組み合わせた自動化診断サービスのラインアップを拡充。

短期化、低コストながら高品質なサービスの提供を実現し、お客様の課題解決に貢献。

拡充した診断サービスの主なラインアップ

サービス名	内容
Diaforce (ディアフォース) (2022年3月)	Webサイトの調査過程を自動化、効率化し、高品質なサービスを提供
ハートレーション イクスプレス (2022年3月)	自動化ツールを活用してサイバー攻撃を想定した疑似侵入テストを短期間で実施・検証

他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと 独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供

安心・安全なサイバー空間への貢献

SSS

セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。

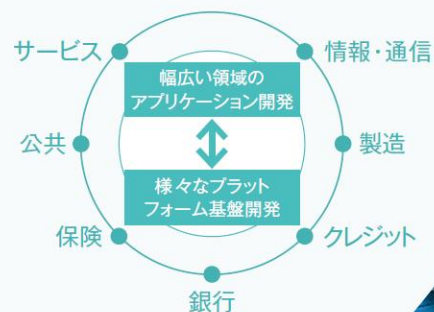


ITによる豊かな社会への貢献

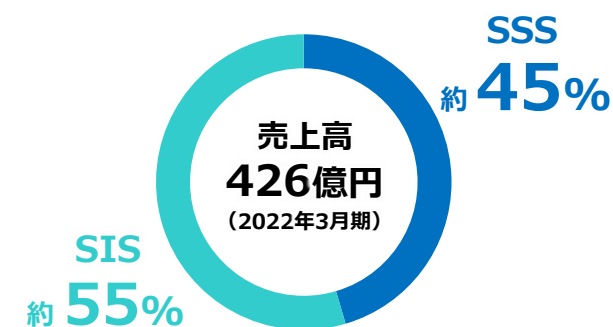
SIS

システムインテグレーションサービス

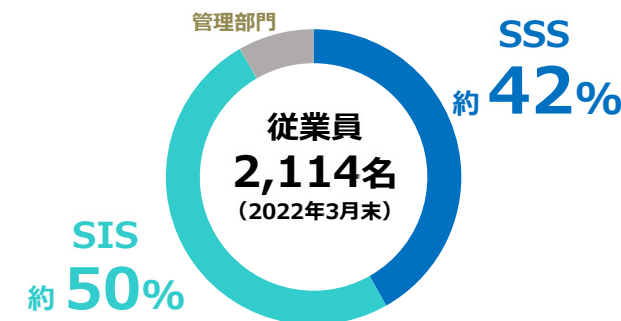
大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強みに、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤まで一貫したSIサービスを提供しています。



売上高構成比



人員構成比



(2022年3月31日時点)

会 社 名	株式会社ラック		
住 所	東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー		
設 立	2007年10月1日（前身となる旧ラックは1986年に設立）		
代 表 者	代表取締役社長 西本 逸郎		
資 本 金	26億4,807万5,000円		
業 績	売上高 426億円 営業利益 15億円（2022年3月期）		
従業員数	連結 2,114名 単体 1,638名		
拠 点	東陽町オフィス（東京都） 福岡オフィス（福岡県）	ラックテクノセンター秋葉原（東京都） ラックテクノセンター北九州（福岡県）	名古屋オフィス（愛知県） シンガポール支店（シンガポール）
関係会社	セキュリティ 株式会社ラックサイバーリンク（東京都） KDDIデジタルセキュリティ株式会社※（東京都） ニューリジェンセキュリティ株式会社※（東京都） ※持分法適用関連会社 SIサービス 株式会社ソフトウェアサービス（東京都） 株式会社アクシス（福島県）		
上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 証券コード 3857		



※本資料は2022年5月13日時点の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※この配付資料に記載されている業績目標、将来の見通しなどの記述はいずれも、当社グループが作成時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは経済情勢や社会動向等の様々な経営環境の変化によって、直接・間接に影響を受けるものであり、実際の業績、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。